

企業誘致に向け 最新情報を交換 在京経済人小委員会懇談会

11月21日と22日の両日、市企業誘致促進協議会が、在京経済人懇談会の小委員会のメンバー9人を大館に招き、企業誘致の情報交換を中心とした懇談会を開催しました。

在京人活用し 具体的行動を

具体的行動を

過去八回開催してきた在京経済人懇談会。今回招待した小委員会の皆さんは、ここ数回世話役的な役割をさせていただいた人たちがばかりで、企業誘致促進協議会がこの懇談会を大館で開催したのは初めてのことです。

二十一日、小委員会の皆さんは、まず二井田と花岡の工業団地を見学し、誘致企業と地元企業を視察。市内の様子も一通り目にした後、協議会員との懇談会に移りました。二時間半余りに及んだ懇談会では、はじめに協議会会長の小畑市長が、県内

最大規模の工業団地造成、道路網整備、空港、長木ダム、大学誘致のことなど、基盤整備の進み具合を紹介し、企業誘致は最後の詰めで、二十一世紀へ向けての力ギにもなるとあいさつ。

意見交換では、小委員会から「大館市発展のための基本提言」があり、失なわれた人間らしさの探究を軸にした活性化対策が示されました。現状分析して基本方向を確立し、特徴あるまちづくり、地域ナンバーワンの大館づくりを求めています。また、企業誘致については「百の論理より一つの行動が大事」とし、候補企業の的を絞った具体的行動の必要性を強調。東京事務所を開設し、首都圏在住経済

現状知り 有意義

小委員会世話人
工藤禮次郎さん
(東京都世田谷区)



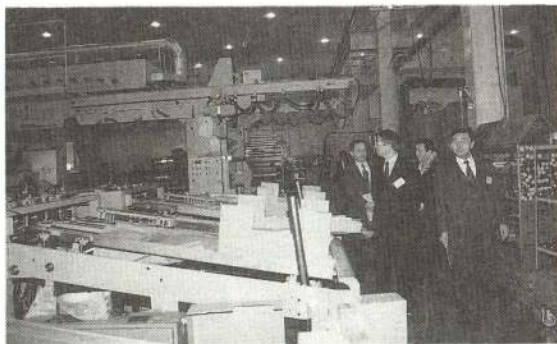
「今まで東京だけで開催していましたが、大館の様子がよく分からないこともあって、とかく幻想論的な話が多かったのですが、今回初めて大館へ来て現状を知ることができ、これまでと違った考えを持てるようになったと思います。大変有意義なことでした。今後も私たちは、より積極的に大館の発展、企業誘致のお手伝いをさせていただきたいと考えています」

人を活用して誘致とPRにあたってはという意見も出され、活発な議論がなされました。

二十二日、一行は大館能代空港建設予定地や小坂インターなど高速交通網の要所を視察し、日程を終えました。



まちづくり、人材育成、地場産業など、いろいろな角度から企業誘致について意見が交わされた懇談会



↑企業視察では、説明を聞きながら熱心に見学。進出理由や流通経路など矢継ぎ早に質問がとびます

→大館能代空港建設予定地を目のあたりに。首都圏が近づくことで、企業誘致に拍車がかかる予感がします

